

平成 17 年 8 月 11 日

平成 1 8 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

上場会社名 東都水産株式会社 (コード番号：8038 東証第一部)
(URL <http://www.tohsui.co.jp/>)
代 表 者 代表取締役社長 関本 幸也 TEL：(03) 3541 5468
問合せ先責任者 取締役経理部長 青山 憲夫

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 1 8 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 金額は百万円未満切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	40,247	2.3	155	-	181	-	170	-
17年3月期第1四半期	41,178	2.2	269	-	212	-	432	-
(参考)17年3月期	172,341		505		527		987	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	4.53	-
17年3月期第1四半期	11.92	-
(参考)17年3月期	27.23	-

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の我が国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の増加などにより、全体的に回復基調で推移しましたが、原油を中心とした原材料価格の上昇等依然として予断を許さない状況で推移しました。

水産物卸売業界におきましては、魚価は若干持ち直したものの購買意欲は依然として低調で、入荷数量の減少には歯止めがかかっておりません。

このような状況の中で当社グループの売上高は、40,247百万円(前年同期比2.3%減)と若干の減収となりましたが、売上総利益率の上昇と、人件費等諸経費の削減により営業利益で155百万円(前年同期営業損失269百万円)、経常利益で181百万円(前年同期経常損失212百万円)、第1四半期純利益で170百万円(前年同期純損失432百万円)を計上することができました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（注）金額は百万円未満切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	32,924	9,380	28.5	233.31
17年3月期第1四半期	34,603	8,627	24.9	237.83
(参考)17年3月期	31,894	7,999	25.1	220.65

[連結キャッシュ・フローの状況]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	432	117	930	4,341
17年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	776	128	2,386	3,084

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

(資産)

当第1四半期における資産合計は32,924百万円（前連結会計年度末比1,029百万円増）となりました。

その主な要因は現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期における負債合計は23,404百万円（前連結会計年度末比411百万円減）となりました。その主な要因は借入金の減少によるものであります。

(資本)

当第1四半期における資本合計は9,380百万円（前連結会計年度末比1,380百万円増）となりました。その主な要因は利益剰余金の増加と自己株式の減少によるものであります。

当第1四半期までのキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動により得たキャッシュ・フローは432百万円となりました。

これは、税金等調整前第1四半期純利益280百万円、売上債権の減少1,152百万円等による資金の増加の一方、仕入債務の減少721百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動に使用したキャッシュ・フローは117百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動により得たキャッシュ・フローは930百万円となりました。

これは主に長短期借入金434百万円を返済しましたが、自己株式を1,367百万円で売却したことによるものであります。

3.平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	80,000	350	300
通期	166,000	650	400

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 9円95銭

平成18年3月期の個別業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	54,000	110	140
通期	109,000	250	280

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 6円96銭

[業績予想に関する定性的情報等]

連結業績予想

中間期:特別利益が当初予想より増額することが見込まれますので平成17年5月18日発表の業績予想を上記の通り修正いたします。

通期:経常利益につきましては、連結子会社で当初予想された経常利益額が増加することが見込まれますので平成17年5月18日発表の業績予想を上記の通り修正いたします。

個別業績予想

中間期:売上高が平成17年5月18日に発表した業績予想より増加することが予想され、それに伴い経常利益、当期純利益とも増加することが見込まれますので上記の通り修正いたします。

通期:売上高が平成17年5月18日に発表した業績予想より増加することが予想され、また、当初見込んでおりました特別損失が減額となることが予想されますので当期純利益を上記の通り修正いたします。

上記の予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(1) 第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	(参考) 平成17年3月期末
(資産の部)			
流動資産	20,486	18,943	17,976
現金及び預金	4,267	4,416	3,158
受取手形及び売掛金	11,341	11,325	12,288
たな卸資産	5,392	4,912	4,909
その他の	1,358	1,366	689
貸倒引当金	1,873	3,077	3,069
固定資産	14,117	13,980	13,917
有形固定資産	7,749	7,768	7,759
建物及び構築物	3,299	3,283	3,311
機械装置及び運搬具	746	707	694
土地	3,640	3,653	3,649
建設仮勘定	-	59	38
その他の	62	65	64
無形固定資産	207	200	201
投資その他の資産	6,159	6,011	5,957
投資有価証券	5,403	5,053	4,999
破産債権、更生債権その他 これらに準ずる債権	2,042	2,264	2,450
その他の	518	540	529
貸倒引当金	1,804	1,847	2,022
資産合計	34,603	32,924	31,894

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	(参考) 平成17年3月期末
(負債の部)			
流動負債	20,641	18,479	18,850
支払手形及び買掛金	4,353	4,947	5,013
短期借入金	14,827	12,007	12,427
未払法人税等	72	189	45
賞与引当金	225	166	92
その他	1,162	1,170	1,270
固定負債	5,250	4,924	4,964
長期借入金	494	436	451
繰延税金負債	1,331	1,256	1,229
再評価に係る繰延税金負債	501	501	501
退職給付引当金	1,706	1,648	1,654
役員退職慰労引当金	266	141	187
その他	950	939	940
負債合計	25,892	23,404	23,815
(少数株主持分)			
少数株主持分	84	140	79
(資本の部)			
資本金	2,376	2,376	2,376
資本剰余金	953	1,009	953
利益剰余金	4,224	3,840	3,669
土地再評価差額金	396	396	396
その他有価証券評価差額金	1,783	1,682	1,642
為替換算調整勘定	17	88	57
自己株式	1,089	13	1,095
資本合計	8,627	9,380	7,999
負債、少数株主持分 及び資本合計	34,603	32,924	31,894

(2) 第 1 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)		(参考) 平成17年3月期	
売 上 高		41,178		40,247		172,341
売 上 原 価		39,263		38,095		163,631
売 上 総 利 益		1,915		2,152		8,709
販売費及び一般管理費		2,184		1,996		8,204
営 業 利 益 (は 損 失)		269		155		505
営業外収益						
受 取 利 息	7		7		41	
受 取 配 当 金	29		31		32	
そ の 他	67	105	57	96	218	292
営業外費用						
支 払 利 息	45		50		203	
そ の 他	2	47	20	70	65	269
経 常 利 益 (は 損 失)		212		181		527
特別利益						
投資有価証券売却益	-		99		285	
そ の 他	-	-	-	99	80	366
特別損失						
そ の 他	195	195	-	-	1,814	1,814
税金等調整前第1四半期(当期)純利益 (は損失)		407		280		920
法人税、住民税及び事業税	25		49		81	
法人税等調整額	1	24	0	49	12	69
少数株主利益 (は損失)		0		60		2
第1四半期(当期)純利益 (は損失)		432		170		987

(3)第1四半期連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

期 別	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
科 目		
.営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前第1四半期(当期)純利益	280	920
2. 減価償却費	106	425
3. 貸倒引当金の増減額	168	1,007
4. 賞与引当金の増減額	74	55
5. 退職給付引当金の増減額	6	406
6. 受取利息及び受取配当金	38	74
7. 支払利息	50	203
8. 投資有価証券売却益	99	285
9. 売上債権の増減額	1,152	420
10. たな卸資産の増減額	2	371
11. 仕入債務の増減額	721	357
12. その他	269	253
小 計	362	1,296
13. 利息及び配当金の受取額	54	89
14. 利息の支払額	49	197
15. 希望退職関連費用の支払額	-	231
16. 法人税等の支払額	65	180
営業活動によるキャッシュ・フロー	432	776
.投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の預入による支出	1	146
2. 定期預金の払戻による収入	-	146
3. 有形固定資産の取得による支出	110	369
4. 投資有価証券の売却による収入	-	586
5. その他	5	88
投資活動によるキャッシュ・フロー	117	128
.財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	420	2,249
2. 長期借入金の返済による支出	14	52
3. 自己株式の売却による収入	1,367	-
4. その他	1	83
財務活動によるキャッシュ・フロー	930	2,386
.現金及び現金同等物に係る換算差額	10	34
.現金及び現金同等物の増減額	1,256	1,448
.現金及び現金同等物の期首残高	3,084	4,532
.現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	4,341	3,084